



校訓

なかよく かしくく たくましく

ちがいを豊かさに 自分に夢と自信を

令和5年11月 2日 第14号 文責 梶原 圭一



最幸(さいこう)な集団宿泊教室

10月26日(木)～27日(金)に、5年生が菊池少年自然の家に出向き、集団宿泊教室を行いました。自然の中での体験活動を通じて、集団行動をする際のきまりやマナーを身につけるとともに、なかまと協力することの大切さを学ぶことを目的に行いましたが、本校の5年生は、2日間の中で素晴らしい成長を見せてくれました。自然の家の所員の方々から、子どもたちの「はい」という反応のよさ、「ありがとうございます」という感謝の気持ちを表す言動、そして友達と助け合いながら行動する様子を大変ほめていただきました。1日目のナイトハイクでの子どもたちの様子を見ていましたが、グループ内で互いに励ましの声を掛け合いながら、夜の山道を突き進んでいく子どもたちの姿に感動しました。

今回の宿泊教室を行うに当たり、「みんなで最幸(さいこう)の集団宿泊教室にする」ために、3つの大きな目標を立て、事前学習に取り組んでいました。解散式の際も、その目標がみんな達成できたかどうかを確かめ合っていました。

日常ではなかなか体験できない大切なことを学んで来ましたので、この経験を学校生活でも発揮し、よきリーダーとして成長してくれることを期待しています。



◆◆収穫から生命の尊さを考える◆◆

それぞれの学年が、学習の中で植物などの世話をしてきましたが、収穫の時を迎えました。1・2年生は、生活科でさつまいもを育てています。3年生は総合的な学習の時間で菊陽町の特産物である人参を、5年生はお米を育てています。人参の収穫はもう少し先になりますが、さつまいもとお米は収穫をしました。今年は猛暑が続きましたので、無事に育つか心配しましたが、地域の方、そして地域学校協働活動推進員の方の協力もあり、無事に収穫することができました。食べるものを育てるという活動は、豊かな情操を育む上で、貴重な体験だと考えています。収穫を通して、生命の素晴らしさを感じてほしいと願っています。



◆◆給食試食会への参加 ありがとうございました◆◆

10月27日(金)にPTAの給食委員の方々の計画で、4年ぶりに給食試食会を行いました。30人以上の保護者の方々に参加いただき、本校自慢の給食を食べていただき、感想をいただきました。また、子どもたちが給食の準備をしている様子や美味しく給食を食べている姿を見ていただきました。

本校は、自校で300食近くの給食を作っています。子どもたちが安心・安全に給食を食べることができるよう、日々衛生管理に細心の注意を払いながら、また成長期に必要な栄養の摂取量や栄養素等を考えながら献立を作成し、作業を進めています。参加された方からは、以下のような感想が寄せられました。ありがとうございました。記載していただいた一部ですが紹介します。



- 配膳、食事・片付け、歯磨きと一連の流れがしっかり身についており、家とは違う姿を見ることができ、とてもいい機会でした。
- 静かに食べていて、食べる時の姿勢もよかったですと思います。配膳も上手にできていました。
- グループは作れなくても、食べながら少し話したりできるようになったんだと思いました。
- 家とは違い、静かに黙々と食べていたので、家でも頑張ってもらいたいことを本人にも伝えました。

